

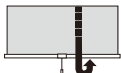
操作方法

注意

- ① 操作は必ず中央のプルボールを手で持って垂直に行ってください。斜め操作をすると巻きずれを起こし、不具合の原因になります。
- ② ロールスクリーン本体にぶらさがらないでください。

スクリーンの降ろし方

スクリーンを下に引き手を離すと止まります。

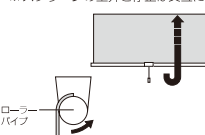


引き切りの直し方

スクリーンを強く降ろした時など引き切り（オーバーラン）状態になり、巻き上がらなくなることがあります。その場合、ローラーパイプを直接手で少し回すと直ります。

スクリーンの上げ方

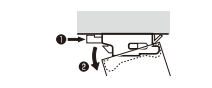
スクリーンを3～4cm下に引き手を離すと上がります。
※スクリーンの上昇と停止は交互に作動します。



スクリーンの洗濯方法

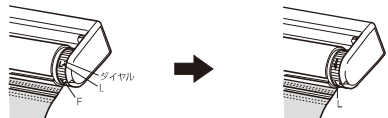
1 スクリーンの取外し方

① 本体（セットバー）をブラケットから取外してください。



② 広い台の上などで、スクリーンを全て引出して、生地を止めてください。

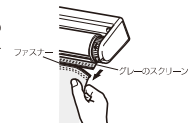
③ ホルダーセット（右）の△印にダイヤルのL（ロック）を合わせてください。



● 常時ロックなしの状態印がF（フリー）の位置

● ロック状態ダイヤルを矢印方向に直し、△印にL（ロック）を合わせる。

④ スクリーンのファスナー部分（上端の透明な樹脂部）をめくりスクリーンをグレーのスクリーンのファスナーから外してください。

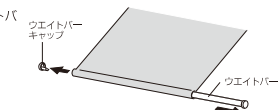


⑤ プルセットをウエイトバーから取外してください。

注意

- ① プルセットをウエイトバーから外す際、プルセットを横に動かさないでください。スクリーンを傷つける恐れがあります。

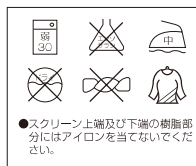
② 下部のウエイトバー端のキャップを外しウエイトバーを抜き取ってください。



2 スクリーンの洗濯方法

- ① 弱洗いで他の物とは別に洗ってください。
- ② 適心脱水はせずにタオルなどで水分を取ってから、日陰に干し干しをしてください。
- ③ アイロンは中温で当布をにかけてください。

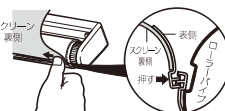
※アイロンは、よご（垢）方向にかけるとシワが伸び美しく仕上がります。強く押しあてると部分的にスクリーンが伸びますのでご注意ください。スクリーン上端のファスナー部分には、アイロンをかけないでください。



3 スクリーンの取付け方

① スクリーン上端のファスナーと、グレーのスクリーンのファスナーを指で押し込みながら取付けてください。

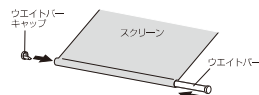
※スクリーンの上下・表裏を間違えないように注意してください。



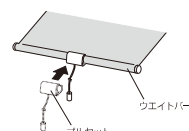
※ファスナーは、指で端から押しながら、スライドさせて反対端まではめてください。

※スクリーンの端はローラーパイプの端にぴったり合わせてください。

② スクリーン下端の袋縫いをしてあるところから、ウエイトバーを差し込み、ウエイトバーキャップをはめ込んでください。



③ プルセットをウエイトバー中央の位置に押し込んで取付けてください。



注意

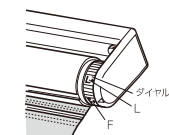
- ① プルセットの位置を調整する場合は、一度プルセットを取外して、再度取付けた位置に付け直してください。横に動かすとスクリーンを傷つける恐れがあります。

② ブラケットに本体（セットバー）を取付けてください。

※セットバーをブラケットの仮止めフックにかけ、押して固定させてください。



③ ホルダーセットのダイヤルをLからFの位置に回してください。



本体のお手入れ方法

- シンナー等で拭いたり薬品等を使用しますと変色、変形の原因になりますのでご注意ください。
- 製品の汚れはきれいなやわらかい布で拭き取ってください。

故障かなと思ったら

スクリーンが巻き上がらないとき

ダイヤルを「F」（フリー）の状態ですクリーンローラーパイプからはずしたり、速度調整を行う際にローラーパイプ端の軸を回転させてしまったり、強い衝撃が加わると、スクリーンが巻き上がらなくなる場合があります。

これは、スクリーンを巻き上げるための機能として、ローラーパイプ内部に入っている「スプリング」という部品の設定が解消されたため起こります。

スクリーンが巻き上がらなくなってしまったら、以下の手順で調整を行ってください。

1 スプリングの設定方法

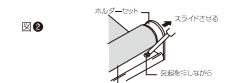
注意 ① 右側のグレーのダイヤルを「L」（ロック）になっていることを確認してください。

① ブラケットから本体（セットバー）を取り外します。



② セットバーの裏側の白い突起をドライバー等で押しなが、ホルダーセットを横にスライドさせ、ローラーパイプとスクリーンを取り外します。

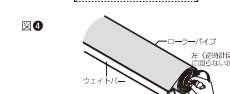
※強く押しすぎると、ホルダーが破損することがあります。ご注意ください。



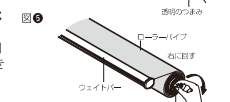
③ スクリーンを手で一番上まで巻き上げます。



④ ローラーパイプの端についている透明の六角形のつまみが、左（逆時計回り）に回るかどうか確認してください。回らない状態の場合は、そのまま⑤に進んでください。回る状態の場合は、右（時計回り）に半回転させ、手を離すとロックがかかりますので、左に回らない状態にして⑥に進んでください。



⑤ 次に透明の六角形のつまみを、左に巻き戻さないように押さえないから右（時計回り）に回します。（回す目安は8～10回転、製造船の大きいものは回転数を多くします。）つまみが強く回しにくくなったら、左に半回転戻し、再度右に半回転するとロックがかかります。



⑥ ローラーパイプの両端の突起をホルダーセットの穴に合せ、ホルダーセットを押し込みセットします。（透明のつまみは左側にきめます。）



⑦ 右側のグレーのダイヤルを「F」（フリー）にしてから、昇降を行ってください。



※④まででも、あまり上がらないときは、スピードの調整方法へ進んでください。

2 スクリーン上昇スピードの強さ、速さの調整方法

「1 スプリングの設定方法」を行っても、完全に上まで巻き上がらない、もしくは上昇スピードが遅すぎる場合は、以下の手順で調整を行ってください。

① スクリーンを100cmほど降ろした状態で止めます。（スクリーンが自然に下がってしまう場合は、止まった位置から、さらにスクリーンを一番下まで下げて止めます。）

② ローラーパイプとスクリーンを取り外します。①～④、⑥～⑧を参照。

③ スクリーンを手で一番上まで巻き上げます。

④ ローラーパイプをホルダーセットに戻し、スピードを確認します。

①～④、⑥～⑧を参照。

※一番上まで適度なスピードで巻き上がるようになるまで、上記手順をくり返してください。

※上昇降スピードが速くなりすぎた場合は「スピードを遅（弱）めたいとき」の調整を行ってください。